

スーパーコンピューティングコンテスト

高校生・高専生の熱き知的な戦い 第 20 回「夏の電腦甲子園」本選結果


















高校生・高専生が 4 日間をかけて難題を解くプログラムを作成し、その性能を競う「スーパーコン」。本年度は第 20 回の記念大会として、予選を勝ち抜いた 21 チームが東京工業大に集結して熱き知的な戦いが平成 26 年 8 月 18 日から 22 日に繰り広げられました。

競技では東京工業大学のスーパーコンピュータ TSUBAME2.5 を使用しました。今回のプログラムの作成では、MPI (Message Passing Interface、並列プログラミングの規格) を用いており、審査では 384 プロセスの並列実行を用いるため、より良い答を探す作業を上手に「細分化して配分・収集」する工夫が必要になります。

【本選課題】

今年の本選課題は、「テトリス風パズルゲーム」。オリジナルのテトリスと違い、使うピースのセットがあらかじめ与えられ、それらをどのような順番で、どの向きで、どこに落とせば最終的に積みあがった高さをもっとも低くできるかを競います。順位は、3 つの審査課題に対する、そのスコアの合計 (小さい順) で決定されます。

問題				
<p>今回の本選課題はテトリスという有名なゲームにヒントを得たものである。 オリジナルのテトリスと違い、使うピースのセットがあらかじめ与えられる。 それらを (1) どのような順番で (2) どの向きで (3) どこに落とせば、最終的に積みあがった高さを最も低くできるかを競う。</p>				
ピースの種類				
0	1	2	3	4
				
5	6	7	8	9
				
10	11	12	13	14
				

【本選結果】

8月22日に表彰式が行われ、1位から3位までのチームにメダル・賞状・楯が贈呈されました。また、優れたアルゴリズムやプログラムを作成したチームに贈られる学会奨励賞（電子情報通信学会情報・システムソサイエティスーパーコンピューティング奨励賞、情報処理学会若手奨励賞）もチーム「MamaGoto」が受賞しました。

順位	チーム名	学校名
1	MamaGoto	大阪府立大学工業高等専門学校
2	nicotoum	渋谷教育学園渋谷高等学校
3	sontaku	香川県立高松高等学校



優勝チーム MamaGoto



プログラミング結果



参加チーム・スタッフの記念写真

スーパーコンオフィシャルサイト（優勝チーム解答動画がご覧いただけます）

URL : <http://www.gsic.titech.ac.jp/supercon/> 又は 『[電腦甲子園](#)』 検索クリック

スーパーコンに関する問い合わせ先:

スーパーコン 14 実施委員会(東京工業大学学術国際情報センター)

E-mail : sc14query@gsic.titech.ac.jp

取材に関する問い合わせ先:

東京工業大学広報センター

TEL: 03-5734-2975 FAX: 03-5734-3661 E-mail: media@jim.titech.ac.jp